

Z39.50プロトコルを用いた 検索クライアントの開発

図書館情報システム論講座
石塚研究室所属
江草 由佳

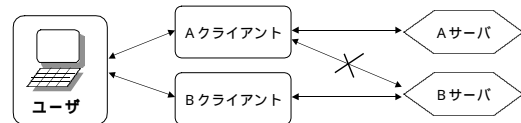
研究背景と目的

- 背景
 - インターネットの普及
 - 情報検索の効率化の必要性
- 目的
 - 情報検索プロトコルZ39.50を用いた検索クライアントの開発

Z39.50プロトコルとは

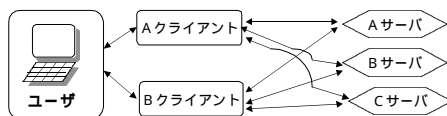
- ANSI/NISO標準プロトコル
 - サーバとクライアント間の標準化
 - 検索質問、検索結果、課金、認証の標準化
 - statefulな検索
 - 機種やアプリケーションから独立
 - 開かれた検索システム

従来の検索システム



- 使いなれたクライアントで他のサーバにアクセスしたい。
 - システムが異なるので接続できない
- 1つのサーバに複数のクライアントでアクセスしたい
 - システムが異なるので接続できない

Z39.50に基づいた検索システム

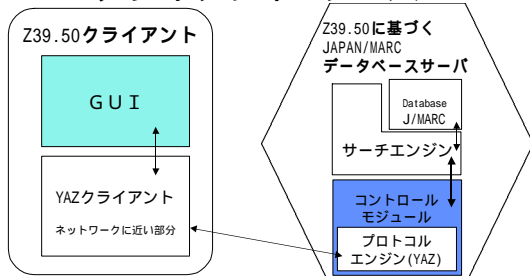


- 同じクライアントでいろいろなサーバにアクセスできる
 - 使いなれたインタフェース
- 1つのサーバにおいてクライアントを選ぶことも可能

Z39.50のクライアント に関する現状

- Index data's YAZ
- Washington Univ.; Willow Z39.50 client
- OCLC; Z39.50 client API
- 安齋宏幸; Z39.50プロトコルを用いた日本語書誌情報システム試作

Z39.50に基づく クライアント-サーバ



YAZ: INDEX DATA社のZ39.50を実装するためのツール(Yet Another Z39.50 toolkit)

Z39.50が提供する クライアントの基本機能

- Initialize (機能折衝と検索の開始)
 - セッションの開始
- Search (検索機能)
 - 検索
 - 書誌フォーマット指定、データベース指定
- Present (返戻機能) search and retrieve の retrieve に相当
 - 検索結果の提供要求

検索質問について

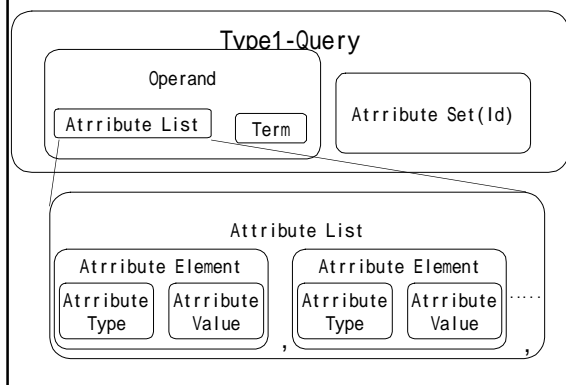
- 検索質問には一般にType-1 Queryが使われる

例) 書名にLibraryがつく本を探したい

{{(1,4),(4,2)}"Library"}

- <注1> (1,4)= 1:Use 4:Title
- <注2> (4,2)= 4:Structure 2:words

{{(1,4),(4,2)}"Library"}



進行状況

- YAZ にある client ztest(server) というデモプログラムで基本的な機能を学習中。

今後の予定

- YAZ のデモプログラムの解析
- クライアントインタフェースの設計、開発
- クライアントの日本語化